

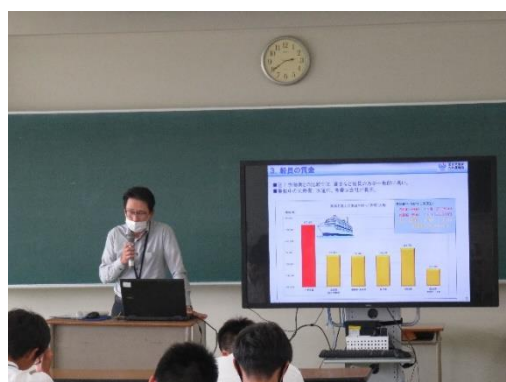
福岡県立水産高等学校で内航海運の重要性や船員の仕事をPR！！

～内航海運出前講座を実施～

九州地区船員対策連絡協議会（※）では、内航海運の魅力を発信し、就職先の選択肢としてもらうべく福岡県立水産高等学校海洋科3年生37人（福岡県福津市）を対象にした内航海運出前講座を実施し、内航海運の役割と船員の仕事をPRしました。

- 令和2年8月26日、同校において、九州運輸局職員による「内航海運の経済における役割や重要性」、「船員の仕事内容や船内生活」及び「必要となる資格」等や地元内航海運事業者の船長による内航船員の具体的な実務や仕事のやりがい等についての説明を行った、内航海運出前講座を実施しました。
- 船長の講義では、事前に生徒から頂いた様々な疑問について回答を交えながら講義を進め、女性が船員として働いていくための必要な心構えや船舶でのWi-Fiの設備状況に至るまでその内容は多岐に及びました。
- 講座修了後のアンケート調査では「船会社の現状や船員としての志などを詳しく聞くことができ大変になった。」、「船でやっていくことを決めたので今のうちからしっかりと準備をしていきたいと改めて思った。」等、内航海運における船員の仕事に対する理解と関心が高まったといった内容の感想が数多く寄せられました。
- 九州地区船員対策連絡協議会では、今後も内航海運業界への若年船員の確保に向け、引き続きこの内航講座を実施してまいります。

※九州地区船員対策連絡協議会：九州地方海運組合連合会、全国内航タンカー海運組合西部支部及び九州運輸局で構成



内航海運出前講座の様子